

樹 姉 ば よ り

No.138
2016.04



慈 悲 喜 捨

春は出会いと別れの季節と言われています。進級や進学、新社会人となる門出、新生活等の言葉からは四月がイメージされ、「卒業」という言葉は三月を連想させます。つまり、時候上では、「別れ」「出会い」の順になります。

本校でも、三月に卒業という別れがあり、四月には新入生を迎える出会いがありました。どちらも生徒にとっては大きな出来事だと思います。なぜなら、人生の節目を迎え、新たな出会いがあつて、それが今後の生活へとつながっていくからです。

新たな生活は、期待と不安が入り混ざり、緊張を伴います。したがって、徐々に慣れていくようにすることと、過度のストレスを抱えないよう上手く乗り切っていく必要があります。それでは、どのようにしていけばよいのでしょうか。

二代校長の野口健策先生は、入学式の式辞で必ず「選びに選ばれ、本校に入学することになった新入生諸君」と、語りかけるように話されていました。私は、この言葉は、我々の力を超えた「ご縁」によってここに導かれたということだろ

うと思っていました。しかし、その後、「お互いがご縁によって導かれたのだから、感謝の気持ちを忘れず、仲良く、切磋琢磨する」「今、此処で精一杯努める」「自らの目標を達成する」「それがご縁に報いる報恩である」と教えていただきました。この言葉は、その後の私の生活を変えていったと思つていま

人間は、考え方次第で異なる行動をとります。たとえば、何かを嫌だと感じた時に、その気持ちのままで行動するか、自分自身が成長するための「好機・学びの機会」と考えて行動するか、どちらを選ぶかによつてその後が違ってきます。「考え方が変われば行動が変わる」「行動が変わると生活が変わり、人との関係も変わってくる」と言われています。そして、考え方は、「感情・気持ち」によつて生じてきます。ですから、物事の感じ方を肯定的にするようにしていくことが大切になります。春爛漫、出会いは必然と受けとめ、大らかな気持ちで出会いを大切にしていきたいと思います。必ずよい結果がもたらされることでしょう。

金安 伸一

初めは全体の半ば

明照学園理事長

野口 秀樹



平成二十八年度がスタートします。スタートラインに立った時、どんな感情が湧きますか、知らない未来に対しての不安でしょうか、それとも目的に近づいていく喜びのワクワク感で一杯でしょうか。

それぞれの人が思い思いの感情を抱きながら立っている。できることなら心地よい緊張感に包まれ、これからやってくる未来に立ち向かっていき、明日に夢を描いて欲しいと思うのであります。

そのためには、しっかりととした映像の形で、何回も何回も夢を確認するのであります。そして、思うたびに、より鮮明に夢を映像化していくのです。毎日毎日、夢に近づいていることを感じながら、喜び、感謝するの

です。

私は夢に対してしつこすぎるときらいます。なぜなら、中国古典の『詩経』の中にこんな教えがあるからです。

靡不有初、鮮克有終
(初め有らざるは靡し、克く終わり有るは鮮なし)

意味は、「何事も始めはともかく立派にやっけていくが、それを終わりまで全うする人はすくない」というものです。

私なども年度の終わりになると、四月当初に燃えていた私はどこへ行ってしまったのだらうと、何度も後悔したことがございました。人は少なからず『詩経』の教えのような所を持つている。これを肝に銘じてスタートダッシュすることが必要であります。

* * *

先日、従姉妹の娘さんが千葉から私の家に遊びに来ました。現在大学一年生で、チアリーダー部に入部しております。疑うことのない体育会系の女子でありまし

た。

色々話しているうちに、彼女にも悩みのあることを知りました。彼女は「挑戦ができない。新しいことにチャレンジすることができない。それは先の失敗を恐れてしまうから」と言うのです。その代わり一度始めたことは継続できている自信がある。背中を押してもうえなないと一歩が踏み出せない。

私はこのような思いをしたことがないので、意外に思ったのですが、世間一般には同様の悩みを持つ若者が結構いるようです。これを聞いたお節介な私は、こんな話をし始めました。

「初めてのことにチャレンジする時、失敗が怖くて第一歩が踏み出せないらしいけれど、君はかなりウソつきだよ」

私がそう言うと、否定したい思いからでしょうか、彼女は少し顔をこわばらせました。

「私達人間は、私も君も今、この今、この今だよ。

とを……」

中国のことわざです。「道は近くとも行かねば到着せず、事は小さくとも行わなければ成就しない」目標には行動が必要なくとを教えてくださいました。また、古代ギリシャの哲学者プラトンは、こんな言葉を残しています。

「初めは全体の半ば」

始めさえすれば、半分は終わったようなものだ。だから、最初の一步を頑張れ……。スタートラインから第一歩を踏み出すことの重要性を教えてくださいました。

先人に学んで、素晴らし一年にしてまいります。

合掌



樹徳教育の目指すところ



創立の理念は仏教を基にした人間教育である。「自主独立」、自分の足で自分の人生を切り拓いていくことのできる人材の育成である。自己を見つめ、「私」へと続いてきた命の尊厳、今を生かす他力の存在、この不思議に感謝し、この喜びを体感する。大いなる他力をいただく我は、他のために生きる。これは世の摂理、バランスであり、そこに私の与えられた使命がある。

学校生活の中で祈る。この心を行動に！あらゆるものに感謝する。これを行動に！喜ぶ。この喜びを他のための行動に！心のひだを柔軟にさせ感動の多い学校生活を！「心即行」の実践者を育成したい。行いは心を成長させるものである。

人はいかにすぐれた師に出会い、よき教えに接したとしても、自分を律するものは自分以外にはない。自律心なきものは自主独立の人間とは言えないのである。心を錬磨し、心をしつかり育てていく教育を実践していきたい。

- (1) あいさつを大切にしている学校
- (2) 掃除を大切にしている学校
- (3) 姿勢を大切にしている学校
- (4) 言葉を大切にしている学校
- (5) 動と静とが交代脈動している学校

教育・指導目標

教育方針の理解を徹底し、特に次の事項に重点をおいて指導する。

1. 出席率の向上
2. 挨拶の励行
3. 学力の向上
4. 各種検定合格率の向上
5. 運動部の強化

生徒への重点指導事項

(1) 挨拶の励行…明るく元気に

おはようございます
こんにちは
ありがとうございます
おかげさまで
すみません
さようなら

(2) 清掃…美しい校舎・きれいな教室・花のある生活

朝・始業前…手塩にかけて。
夕・就業時…感謝をこめて。

学校の沿革

学校法人明照学園樹徳高等学校は、大正三年（一九一四年）桐生市本町六丁目田中山浄運寺住職野口周善先生により創立された裁縫伝習所を母体とし、同年十月樹徳裁縫女学校として正式に認可を得、以来一〇一年間輝かしい隆盛と充実の歴史を培ってきた。

現在、男子部・女子部ともに、普通科最難関大学進学コース（男女共学）、同特別大学進学コース、同大学進学コース、同総合コースの七コースを置き、広沢町に付属樹徳幼

稚園を併設している。さらに平成十三年度には、中高一貫教育を実践するため隣接の稲荷町に樹徳中学校を開設した。

この学園に学ぶ者約千五百名、卒業生は約三万二千人を数え、地域社会への貢献も少なくないと自負するとともに、校名の語る高い良識と明照の智慧による力強い個性的な生活を目指し、典雅な明るさをもって、質実剛健の輝かしい伝統の恵みの中で、たくましい努力を続けている。

（学校要覧より抜粋）

京大1名・名大1名 医学部医学科4名合格

旧帝国大学	2名
京都大学	1名
名古屋大学	1名

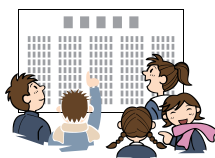
私立大学(医・医)	4名
帝京大学(医・医)	1名
獨協医科大学(医・医)	3名

国立大学	19名
筑波大学	3名
東京医科歯科大学	1名
静岡大学	1名
金沢大学	1名
埼玉大学	1名
新潟大学	2名
長崎大学	1名
群馬大学	6名
信州大学	1名
弘前大学	1名
秋田大学	1名

公立大学	9名
首都大学東京	2名
群馬県立女子大学	2名
高崎経済大学	5名

準大学	3名
防衛医科大学校(医)	2名
防衛大学校	1名

早慶上理	15名
慶應義塾大学	6名
早稲田大学	2名
上智大学	3名
東京理科大学	4名



今年度も、現役生を中心によくの国公立大学や難関私立大学の合格者を輩出しました。中でも京都大学・名古屋大学へ合格者が誕生しました。普段の授業や長期休業中の課外授業などでの先生方の熱心な指導と、生徒一人一人がそれに答えて、高い意識を持って日々の学習に取り組んだ成果が現れたものです。



また、全体では三〇〇名を超える生徒が、四年制大学の合格を勝ち取ることが出来ました。彼らを中心に、新しい環境のもとに旅立つていった本校の卒業生が、今後の日本を担う人材として飛躍してくれることを期待して止みません。

その他の私立大学 257名

国際基督教大	1名	立教大学	3名
明治大学	5名	青山学院大学	3名
学習院大学	2名	法政大学	7名
中央大学	4名	立命館大学	7名
関西大学	1名	関西学院大学	2名
津田塾大学	4名	成蹊大学	2名
成城大学	1名	國學院大學	3名
北里大学	2名	東京薬科大学	1名
日本女子大学	1名	近畿大学	3名
東京歯科大学	1名	他多数	

(数字はすべて3月22日現在 現役・既卒含む)

平成28年度大学合格者数速報!

京都大・名古屋大をはじめ国公立・医学部・難関私大に続々合格
GMARCH 24名、日東駒専35名



桐生錦町一丁目 盛運橋薬局前

■樹徳コミュニティーセンター「み法」～4月の行事予定～

下旬 販売実習を実施予定
(星野富弘美術館取扱い商品)

今月の法語

あなたには
一歩を踏み出す勇気が
ありますか

言葉

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。新しい生活への期待に胸をふくらませ、あるいは、高校生としての大人の立場に、戸惑いを感じているかも知れません。そんな皆さんに、「言葉」についてお話をしようと思います。

「言葉」とは言葉に関する古くからの考え方であり、言葉には不思議な力が宿っていて、あることを口にする、「言葉」の力により、言った通りのことが起こると信じられていた、というものです。何やら怪しげな話のように思いますが、ありませんが、ごく身近なところで考えてみればよいのです。

基本といえるでしょう。では、

A「ちよつとそれ取って」

B「はいよ」

A「ありがとうね」

最後の言葉が「うん」とか「ああ……」などであったらどうでしょう。「ありがとうね」と比べてみれば、明らかにそつけない印象だと思えます。

そして、大切なのは、「ありがとう」を口にした方の気持ちだと思ふのです。たとえ礼儀として口に出したとしても、「ありがとう」を口にした自分の方も、良い気分になった、という経験を持つている人は多いのではないのでしょうか。また、自分が関係していないところから聞こえてきた「ありがとう」であつても、何となく良い気分になるものではないでしょうか。このようなことこそ、「言

葉の力」と言えるのだと思うのです。

本校は、「仏教精神に基づく人づくり」を教育理念に掲げる学校です。何やら、難しいことを言っているように聞こえるかもしれませんが、「ありがとう」や「おかげさま」に象徴される「感謝の心」こそが、その理念の根幹なのです。まずは、感謝を言葉で表すことから実践し、「良い気分」を感じてみて下さい。そして、自分が良い気分になるだけでなく、周囲を良い気分にすることも体験してみましよう。それでこそ、「互いに感謝し合う」ことを実感できると思ひます。新入生の皆さんが、社会を「良い気分にする」存在になってくれることが、我々教職員員の願ひです。

(編集子)

新年度を迎えて

高校生活は、自らの将来の目標を定め、それを実現するためにあります。そのために、生徒の皆さんは、何をすればよいでしょうか。

「光陰矢のごとし」「歲月

は人を待たず」などと言われます。若い力に満ち、可能性をたくさん持っている今を無駄にははいけません。具体的事項を挙げますので、全力で取り組みましよう。

まずは、学習や運動など、様々な分野で自分が取り組まなければならないことと、その到達目標を決めましよう。決めたら、後は努力するのみです。すぐに結果は出ないかもしれませんが、あきらめずに、一歩ずつ着実に進むことが大切です。

次に望ましい人間性を身につけることです。正しい考え方は、正しい生活を積み重ねることによって身につきます。本校では、次のような事項を挙げて指導しています。

「健康管理」

自分(命)を大切にす

「挨拶」

感謝の心を育む

「言葉使い」

一期一会(貴重な出会いに誠意を尽くす)

「掃除」

洗除心垢(言動を一致)

「仏様へお参り」

畏敬(つつしみの心を持

って自らを見つめる)これらの意義を教え、実践させることによって、人としてよりよい生き方ができるよう善導しています。ご家庭における理解と協力をいただけますよう、よろしくお願いいたします。

(生徒指導部)

職員紹介

平成二十八年年度、新たに着任された職員の方々に、これからよろしくお願ひします。

- 静野 恒一 (国語)
- 森 正子 (国語)
- 宮下 智紀 (数学)
- 小田 隆 (数学)
- 島倉 純子 (英語)
- 澤口 洋佑 (英語)
- 入澤 八一 (英語)
- 小倉 聡之 (理科)
- 小林 弥生 (理科)
- 大石 絢菜 (理科)
- 山田 早矢人 (美術)
- 栗原 佑巳加 (家庭)
- 岡 保 (事務)



一貫校

中学校

だより

中一・二

合同スキー教室

毎年恒例の中学一・二年生合同スキー教室が、二月十七日から十九日の三日間、新潟県の岩原スキー場で実施されました。

教室は、初級から上級までの十班編成で実施。インストラクターの先生や教員にスキー技術を教わりながら実習に臨みました。『スキー技術』のみならず、『集団行動』『公衆道徳の実践』



等、多くの事を学びました。楽しく有意義な時間を過ごした生徒達の感想を紹介します。

○挨拶や周囲の人への配慮など、よくできたと思ってきました。インストラクターや学年の先生方、仲間からスキーを教えるもらい滑ることができたので、本当に嬉しかったです。できた時の達成感はとても大きいものでした。沢山のの人に感謝したいです。

一年一組 長倉 里奈

○今日は、今までで一番スキーが楽しく感じられました。スキー技術がとてり向上し、二日間ここまで滑れるようになったことに驚いています。また、フリー滑走では中級の人と一緒に滑って、



楽しい思い出を作ることができました。来年はもっとリフトに乗りたいたいと思います。

一年二組 飯泉 涼也

○今日も昨日に続き、晴れでした。しかし、雪が若干凍って滑りにくかったです。昨日山頂に行つたメンバーで自由時間を過ごしました。とても充実したスキー教室でした。三年生でのイギリス語学研修でもスキー教室同様「楽しめる」よう、英語を勉強したいです。

一年一組 阿部 紘大

○今日は最終日でした。悔いなくたくさん滑ることができて嬉しかったです。また、滅多にやらない班長・リーダー的なことを務めたので、改めて大変さを痛感しました。と同時にやりがいも感じました。これからは、



二つ目は、「後輩のサポート」をしつかりすることです。私は二年生の時、あまり積極的にならないうちに声を掛けられるようになってしまいました。上級生として部活動や学校行事、普段の生活の中で困っている後輩がいたら、積極的に声を掛けられるようにしたいです。

今まで以上に協力し、このスキー教室で得たものを生かしていきたいです。

一年二組 渡邊 里奈

中学最高学年を迎えるにあたって

今年はいよいよ樹徳中学校最上級生となります。私は、最上級生となって頑張りたいことが三つあります。

一つ目は、「後輩のサポート」をしつかりすることです。私は二年生の時、あまり積極的にならないうちに声を掛けられるようになってしまいました。上級生として部活動や学校行事、普段の生活の中で困っている後輩がいたら、積極的に声を掛けられるようにしたいです。

二つ目は、「自問清掃」です。今の私は、掃除を真面目にできない時があります。友達と話してしまったり、皆がやっていないからと周囲に流されてしまったり、きちんとやらなくては行かぬと思っているけれど、行動に移すことができません。

今年、後悔しないように自問清掃を徹底し、一年生の良い手本となりました。

三つ目は、「勉強」です。これは一年生の時からずっと思っていることです。最上級生になれば、授業に高校内容が入ってきます。今まで以上に内容が難しくなるので、予習・復習をしっかりと行い、授業にも集中して取り組みたいです。また、十一月には、イギリス語学研修があります。私は、英語があまり得意ではないので、英語は特に力を入れていきたいです。

以上三つのことを常に心に置いて、何事にも全力で取り組んでいきたいです。また、最上級生になれば、責任ある立場になることが、今までより多くなります。日頃から責任ある言葉遣いや行動ができるようにしたいです。中学校生活最後の年を迎えるにあたり、再度気持ちを新たなものとし、緊張感を持って、悔いの残らない一年間にしたいです。

三年 星野 しずく

幼稚園だより

新学期のスタート

別れの三月から年度が変わり、スタートの四月を迎えました。本園では三月二十三日に卒園式を終え、心も体もたくましく成長した二十四名が、小学生としての自覚を胸に秘め、元気に旅立っていきましました。そして、新入園児十五名を迎えて、新年度がスタートしま



りっぱにうけとれました!

した。始業式、入園式を終えて、ひとつ大きなクラスになったことを誇らしく思っている子もいれば、不安な気持ちで登園してくる子もいます。新しい子どもたち、新しいクラスは、先生にとっても子どもたちにとっても、ワクワク感と不安感とが混じり合いますが、先生は子どもたち一人一人を受け止めて関わると同時に、園内、教室内で動き出しやすくなる環境の見直しや工夫が必要になります。四月の新入園、新学年には、泣く行動を示す子がいます。その一方で、不安げにしながらも自己抑制が強く、硬い表情で笑顔が出ない子、なかなか表現できず我慢している子も

ます。子どもなりの緊張や不安が、様々な形で表れます。「いやだ!」「ダメ!」など先生や友だちを拒絶・拒否する言葉を発する子もいます。ただ、これは反発や抵抗すること、自分の殻を何とか保っているとも言えます。園の中に物理的にいるものの、心の中では母親を求めている子もまだいる時期でもあります。そして、この不安や拒否の生まれることが、現在の自己から新たな自己へと開かれていく育ちの兆しを示しているのです。この時期の子どもの姿から始まり、先生との安定した信頼関係の形成によって子どもが解放されていく過程の四月から五月、この一ヶ月の園生活は、先生方の存在が大変大きく、重要



がんばってのぼったよ!

となります。幼稚園では環境を通した教育が重要で、園の暮らしになじみ、日々安心して、新たな教室や園で自分を出せるように、場を設定することを一層工夫していきたいと思えます。しかし、ゴールデンウィーク明けの子どもの状況には、もどりやゆるぎの出る子どももいます。新しい世界で大小の壁にぶつかりながら成長していく中で、壁にぶつかったとき、先生と家庭(保護者)が協力し合って支援していくことにより、一歩前進するとともに、確かな成長へと発展していきます。良質な教育(保育)が小学校高学年においても好影響をもたらすことが、調査によって明らかになっています。その基礎的能力を乳幼児期に培えるよう、良質な教育(保育)・質の向上、そしてその充実に教職員一同努めて参ります。本年度も、保護者をはじめ関係皆様のご支援・ご協力の程、よろしくお願いいたします。

進級への期待と自信

穏やかな暖かい陽気に恵まれた三月十八日に、「茶臼山登山」を行いました。

いつも登るコースではなく、初めて尾根コースに挑戦しましたが、急な登山道も頑張って登り、全員が自分の足で頂上へ。六月の親子登山では、泣き出したり、だっこやおんぶしてもらって登った年少さんも、今回は弱音もはず、頑張りました。満三歳の子どもたちも、頂上まで全員自分の足で登れたのにはびっくりしました。

一年間の成長と、一つ学年が上がることへの、期待と自信が伝わってきた茶臼山登山でした。四月からの生活が本当に楽しみです。幼稚園長 瀬谷 茂

入園児募集

- ◎満三歳児(二歳児含む)の入園、および年少・年中・年長児の入園・転入園も随時受け付けております。
- ◎まずは直接ご来園くださるか、お電話にてお問い合わせください。
- ◎一学期には全トイレが新しく改修されます。ぜひ、見学にお出かけください。
- ◎お気軽にお問い合わせを!
桐生市広沢町3-4475
0277-1531-5571
ホームページ

ご覧下さい!

<http://www.jufokued.jp/>

Kinder

4月(正見)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一貫校	幼稚園
1	金	新年度方針・校務分掌発表 新採教員研修①		春休み(～6日)
2	土	新入生学用品引き渡し 学年担任会 時間割作成(～7日) 新採教員研修②	新入生学用品引き渡し	
3	日			
4	月	振替休日(4/2)		職員会議①
5	火	教科担任会 年間授業計画・クラス運営計画作成 校務分掌会議 授業料納入日(2・3年生)		職員会議②
6	水	始業準備 桐生地区校長会		安全点検日 新年度準備
7	木	始業準備 1年生オリエンテーション① 宿泊研修下見 法然上人誕生会		始業式 給食開始
8	金	始業式 大掃除 入学式会場作成 校内安全点検 釈尊降誕会	始業式	入園式
9	土	入学式 1年生クラス編成	入学式	
10	日			
11	月	1年生オリエンテーション② クラブ紹介 2・3年生1・2時限LHR 写真撮影(1年)		年長・年中: 平常保育(14:00降園) 年少: 早帰り(11:30降園、15日まで)
12	火	校内花まつり 対面式 全校朝礼 通学方法調査 男子身体測定 漢字練習開始 自転車通学許可申請日		
13	水	校内基礎学力テスト① 市街地清掃(通算86回) マイトリ－基金抛金日	春期課題確認テスト	
14	木	歯科検診① 1年生宿泊研修①(～15日) 女子身体計測	校内花祭り	園外保育(年長・年中、吾妻公園)
15	金	1年生授業料納入日 交通安全ミニマナーアップ運動 自転車通学許可書発行 県総体申込締切		保育料納入日
16	土	校内定期点検		
17	日			
18	月	LHR 1年生宿泊研修②(～19日)	挨拶運動	年少平常保育開始
19	火	1年生宿泊研修③(～20日)	ミニマナーアップ運動 花祭り 前期勢至会	
20	水	1年生宿泊研修④(～21日)		
21	木	女子部・職員検尿		
22	金	1年保護者会 職員歓送迎会 男子部検尿	4年保護者会	母の会総会
23	土	3年河合塾マーク模試(～24日)		
24	日			
25	月	創立記念日(102周年)	創立記念日 世界平和念仏の日	
26	火	1年生宿泊研修⑤(～27日) 職員血液検査①	進研学力推移調査① 中学保護者会 後援会総会	
27	水	歯科検診②		
28	木	出欠統計 胸部X線撮影(1年・職員) 女子制服アフターサービス		母の会役員顔合わせ
29	金	昭和の日		
30	土			



樹徳高等学校
樹徳中学校
樹徳幼稚園

〒376-0023 群馬県桐生市錦町一丁目1番20号
TEL 0277-45-2258 FAX 0277-47-1671

〒376-0022 群馬県桐生市稲荷町4-12
TEL 0277-45-2257 FAX 0277-45-2262

〒376-0013 群馬県桐生市広沢町三丁目4475
TEL 0277-53-5571 FAX 0277-53-5572

Web www.jutoku.ed.jp Mail office@po.jutoku.ed.jp

発行責任者 野口秀樹
印刷所 太陽印刷工業(株)

夢は大きく 根はふかく